



日本共産党 北区議会議員

せいの恵子 区政レポート

<http://keiko-seino.com>  mail@keiko-seino.com

No. 5 2019.10.15

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

ご相談は
お気軽に

070-3531-0812

区議会決算特別委員会 初質問ダイジェスト



一般会計・介護保険 北区の介護認定の厳しさを追及

北区は近隣区と比較しても、介護度が重い要介護認定者よりも介護度が軽い要支援認定者が突出して多くなっています。前職で介護認定の調査を行っていた経験から、北区の独自ルールや介護認定調査の実施方法について指摘。介護度見直しのための区分変更申請も半数が却下されている実態も明らか。また、認定から判定までの期間が原則 30 日なのに対し、昨年度は平均 39 日となっていることにも、再度検証すべきとたどしました。

北区議会第3回定例会が9月9日(月)から10月4日(金)の会期で終了しました。今回行われた決算特別委員会において、私も初めて委員を務めました。

福祉費 中高年のひきこもり問題

北区でも1700人程度が推定されているとのこと。しかし、一番相談が集中する健康支援センターの保健師の業務量は増大。この問題で重要な役割をはたしている保健師のより いっそうの人員拡充を求めました。



環境費・産業経済費・土木費 子育てファミリー層・若年層世帯に家賃補助

今後15年間、0歳から14歳の子どもが増え続けると推計されている北区。子どもが3歳から5歳未満の世帯の約半数は借家に居住しています。子育てファミリー層・若年層世帯の定住化のために、家賃補助の創設を求めました。

総務費 性的少数者(セクシャルマイノリティ)の相談窓口の創設

誰もが相談したい時にを見つけやすく分かりやすいように周知を行い、専門性のある相談員の配置などを早急に行うことを要望しました。



教育費 東京都で15年ぶりに性教育の手引きが改定

北区でも来年度から産婦人科医を外部講師とした授業が実施される予定です。子どもたちが、自己の健康・安全・幸福につながる行動を自ら選択する力を身に着けることが大切です。保護者・教職員をはじめとした協同の体制づくりを要望しました。

秋のお祭り に行ってきました



区民まつり滝野川会場



地元の馬場自治会の大神輿

私の中でお祭りと言えば、地元の祭礼。今年も、子どもたちの山車や大人神輿の救護班で頑張りました。

幼い頃からお祭りというとなんだか落ち着かず…。感熱のいい掛け声を聞きながら、手拍子で盛り上げました。

そして、10月5・6日はふるさと北区・区民まつりへ。

区民まつりは、今年で36回目、区内3つの会場は、それぞれ趣が異なり、各会場をめくって楽しめます。

